

## 1999年度の「社会情報調査の方法に関する研究会」について

井上 芳保

1999年度の「社会情報調査の方法に関する研究会」として第13回と第14回がいずれも1月29日に開催された。第13回は立命館大学産業社会学部の辻勝次教授に「阪神・淡路大震災と社会断層」という報告を、第14回は大阪大学人間科学部の川端亮助教授に「非定型データのコーディングシステム」という報告をそれぞれしていただいた。今回は同じ日に企画されていた「社会調査士」資格について検討する討論会に両先生にご出席いただく都合からこのような日程となった。「社会調査士」資格について検討する討論会も含めると結果的に一日に三つ別々の研究会を重ねることとなったが、長時間にわたり、これら全てにおつきあい下さった両先生には改めて感謝申し上げる次第である。今回ここに掲載するのは両先生にその上にさらにお願いして、今回の研究会でのご報告内容をもとにご執筆いただいた論文である。

「災害過程と再生過程：人、家族、地域からみた大震災」という論稿をお寄せ下さった辻先生の場合、その記述内容は1月の報告時とはやや異なるものとなっている。報告時には、同じ被害を受けても所属する社会断層によって受けるダメージに相違がみられることの実証にかなりの力を割いた内容のお話をされたことと記憶しているが、今回は未曾有の災害から現地の人々が立ち直り、生活を再生していく過程が社会学の手法を使って多様な角度から丹念に辿られている。社会断層の問題、再生過程の問題のいずれも震災を論ずる上で重要なテーマであると思われる。なお辻先生からは本学部社会情報調査室用として、調査グループでまとめられた関連する報告書、災害社会学研究会編著『被災と再生の社会学：阪神大震災、人・家族・街区』もその後いただいた。貴重な資料として大切に保存させていただくこととする。

「コンピュータを用いた自由回答のコーディング」と題した川端先生の今回の論稿は「非定型データのコーディングシステム」と題した1月の報告の内容をほぼそのまま論文にして下さったような構成になっている。取り扱っているデータは川端先生がかねてからフィールドとしてきた真如苑の調査のものである。宗教現象の場合などはまさしくそうだが、選択肢を設けたアンケート調査には大きな制約があることが知られている。それだけにこのような自由回答データの処理技術は社会意識に関わる実証研究を行っている者には興味深いものといえる。1月の報告の後には関心を持った本学の教員が立ち入った質問を重ねるシーンもみられたが、これを機会にさらに知的交流を相互に深めていけるようならと思う。

いずれにせよ、お忙しい中、両先生にこのような力作をお寄せいただいたことに対して深く感謝申し上げたい。両先生へのお返しとしては、論文の内容を我々がよく読み、本学部でのこれからの研究・教育にさまざまな形で活かしていくことが何よりであろう。最後に両先生から早々と論文をお寄せいただいたにもかかわらず本誌の刊行がこのように遅れてしまったこと

をおわび申し上げる次第である。

「社会情報調査の方法に関する研究会」の開催一覧

	実施日	報告者	報告テーマ	記録
第 1 回	1993年 6 月 4 日	大石 裕	「地域情報化研究の課題」	録音テープ保管
第 2 回	1993年 7 月 29 日	好井裕明	「意味と社会システム：螺旋運動としてのエスノメソドロジー」	紀要 3 巻 2 号に論文掲載
第 3 回	1994年 7 月 28 日	高橋和子	「非定型データの分析方法」	紀要 4 巻 2 号に論文掲載
第 4 回	1994年 10 月 7 日	吉見俊哉	「国民祭典論のための序論的考察：運動会の思想」	『思想』11月号の論文参照
第 5 回	1995年 7 月 1 日	瀬地山角	「東アジアの家父長制」	紀要 5 巻 2 号に講演録掲載
第 6 回	1995年 12 月 16 日	松田博公	「オウム報道の構図と問題点」	紀要 5 巻 2 号に講演録掲載
第 7 回	1996年 11 月 7 日	亘 明志	「メディアと権力」	紀要 6 巻 2 号に講演録掲載
第 8 回	1997年 3 月 8 日	山崎晶子	「差別のエスノメソドロジーから Media Space project へ」	録音テープ保管
第 9 回	1998年 1 月 31 日	谷 富夫	「エスニシティ研究における「世代間生活史法」の試み」	紀要 7 巻 2 号に論文掲載
第 10 回	1998年 3 月 3 日	大谷信介	「都市的状況と友人ネットワーク：5 大学比較調査の結果から」	録音テープ保管
第 11 回	1998年 12 月 12 日	高橋 準	「ポピュラー文化研究における概念と分析装置」	紀要 8 巻 2 号に論文掲載
第 12 回	1999年 2 月 27 日	蘭 信三	「満州移民研究における社会学的方法の可能性」	紀要 9 巻 2 号に論文掲載
第 13 回	2000年 1 月 29 日	辻 勝次	「阪神・淡路大震災と社会断層：災害調査のフィールド体験」	紀要 10 巻 2 号に論文掲載
第 14 回	2000年 1 月 29 日	川端 亮	「非定型データのコーディングシステムとその利用：信仰における霊能の意味へのアプローチ」	紀要 10 巻 2 号に論文掲載